

# 平成27年度予算見積調書

課室名：交通政策課

担当名：鉄道担当

内線：2227

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B29	駅ホームの転落防止対策推進事業費			一般会計	総務費	企画費	企画調整費	県内既設鉄道整備促進費	
事業期間	平成25年度～平成29年度	根拠法令	高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律			戦略項目			
						分野施策	050202 便利な公共交通網の整備		
1 事業の概要 駅ホームからの転落事故等を防止するため、一部の駅をモデルにホームドアの設置経費を補助するとともに、利用者の多い駅等について、点状ブロックの整備経費を補助する。 (1) ホームドア設置促進モデル事業 105,024千円 (2) 点状ブロック整備促進事業 63,900千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア ホームドア設置促進モデル事業 105,024千円 ホームドア整備事業協議会の参加 ホーム改良・ホームドア設置工事に対する補助(1駅2線) イ 点状ブロック整備促進事業 63,900千円 利用者の多い駅(利用者数1万人以上)等での内方線付き点状ブロックの整備に対する補助(42ホーム分) (2) 事業計画 ア 平成26年度まで 技術的課題調査費補助(H25)、ホーム改良・ホームドア設置工事の設計費補助(H26) 平成27年～29年度 ホームドア整備事業協議会 平成27年～28年度 ホーム改良工事費補助 平成27年、29年度 ホームドア設置工事費補助 イ 平成25年～29年度 内方線付き点状ブロックの整備費補助					
2 事業主体及び負担区分 (1) 協議会(県10/10) 工事 国1/3(県7/30)市3/30・事業者1/3 (2) 国1/3(県1/6)市町村1/6・事業者1/3				(3) 事業効果 ア モデル事業実施によるホームドア設置気運の醸成 イ 視覚障害者の転落事故減少					
3 地方財政措置の状況 なし				(4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 鉄道事業者や各種団体等と連携して、鉄道利用のマナーアップなど効果的な広報活動を行う。					
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1.9人=18,050千円									
				財 源 内 訳					
予算額								一般財源	前年との対比
決定額	168,924							168,924	82,015
前年額	86,909							86,909	